

キャリア発達の促しを意識した本校版「キャリアプランニング・マトリックス」の作成と学習活動への活用

岩手県立盛岡峰南高等支援学校 教諭 小田島利紀

1. はじめに

本校では、平成19年度以来キャリア教育の推進・充実に努めてきた。そのなかで、キャリア教育の観点を教育活動に取り入れ、生徒1人ひとりの実態把握、目標の設定などに生かすことができるよう資料の整備を行ってきた。本稿では、キャリアプランニング・マトリックス関連の本校作成資料を紹介する。

2. 用語について

本資料で使用しているいくつかの用語について以下に述べる。キャリア教育の定義としては、中央教育審議会答申による「1人ひとりの社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育」とし、キャリア発達を「社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していく過程¹⁾」としてとらえる。

また、資料内では、同答申で述べていてキャリア発達を促していくうえで、その中核をなすものである「基礎的・汎用的能力」（人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力）や、いわてキャリア教育指針で述べている「総合生活力」と「人生設計力」の用語も使用する。なお、総合生活力とは、将来の社会人・職業人として自立して生きるために必要な能力のことであり、人生設計力とは、主体的に人生

計画を立て、進路を選択し、決定できる能力のことと同指針では述べている。项目的な表現でいえば、総合生活力は「健康・体力」「豊かな人間性」「確かな学力」、人生設計力は「将来設計力」「勤労観・職業観」「社会を把握する力」から成り、社会人・職業人として自立をしていくための具体の要素であるという位置づけである²⁾。

3. 中央教育審議会「基礎的・汎用的能力」といわてキャリア教育指針「総合生活力」「人生設計力」の対応関係について

標記の対応関係については、個々が明確に対応されるべき事柄ではないが、「基礎的・汎用的能力」の中での、人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力は「総合生活力」に、「基礎的・汎用的能力」の中でのキャリアプランニング能力は、「人生設計力」に含まれる³⁾としてありこのようにとらえることを基本としていきたい。

4. 本校の「キャリアプランニング・マトリックス」全体について

国立特別支援教育総合研究所によって、知的障がいのある児童生徒の「キャリア発達段階・内容表（試案）」⁴⁾が2008年に示された。本校では、上表の一部を利用し、平成25年度版の原型ともいえるべき「キャリア発達段階表」を平成19年度に作成した。その後、名称（キャリア発達段階表からキャリアプ

ランニング・マトリックスへの改称)も含め、国総研の改訂⁵⁾を参考としながら内容を改訂して作成し、本校版として毎年活用を図ってきた。

本校版を作成するに当たり、工夫した点は、まず各項目に番号を振り、キャリア教育において必要と思われる指導内容の各段階をわかりやすくしたことである。その上で、生徒が現在どの指導内容を学習していくのが適切かを担当職員が判断し、その該当項目を他の資料においても番号で表記できるようにして、生徒の変容に従い各段階を表す数字が昇順していく仕組み作りを考えた点である。

ここで示している他の資料とは、本校で使用している「個別の指導計画」のことである。担当職員は生徒1人ひとりの実態把握や目標の設定等に、この仕組みを利用して生徒の基礎的・汎用的能力が高まるよう指導・支援を行うこととして活用を図ってきた。

また、番号表記に関連しては、国立特別支援教育総合研究所作成の原表では、「小学部(小学校)段階において育てたい力」としていたところを本校版では「第1,2段階 第3段階」,「中学部(中学校)段階において育てたい力」としていたところを本校版では「第4段階」,「高等部段階において育てたい力」としていたところを本校版では「第5,6段階」,と表記したことである。これは、キャリア発達の促しを目的とする際の生徒個々の実態を鑑みた場合、「第1,2段階 第3段階」,「第4段階」においても、その育てたい力を必要とする生徒がいると判断しているためである。続き番号の表記にしたため、内容の連続性をより意識できる利点が生まれた。さらに、内容が3段階に大きく分かれることから、単純に「第1」「第2」「第3」段階とせずに「第1,2段階 第3段階」「第4段階」「第5,6段階」としたことについては、原表の各段階が、「知的障がい各教科の段階との関連を表す」^{4) 5)}としていることから、そのことを意識するために、「第1,2段階 第3段階」,「第4段階」,「第5,6段階」と表記していくことにした。このことは、後で提示する資料3と関連している。

5. 「キャリアプランニング・マトリックス(項目版)」(資料1)の活用について

児童・生徒のキャリア発達の促しを目指す上での道しるべとなるキャリアプランニング・マトリックスの中味を、私たち教師等が事前にしっかり把握しておくことができるようA4版1枚でキャリアプランニング・マトリックスの要素を表している。そのため、キャリアプランニング・マトリックスの全体像を把握しやすく、活用の基本ともいえるものである。本校では、生徒の基礎的・汎用的能力の向上を目指して取り組む際において、実態把握や目標設定を行っていく際の資料のほか、主として保護者との面談で使用している。また、近々では、生徒向けにアレンジしたキャリアプランニング・マトリックスを使用し、生徒自身の自己理解の一助として活用している。

なお、前年度である平成24年度版の本校キャリアプランニング・マトリックスにおける課題を少しでも解決しようとして作成したのが今回の資料1である。今回の変更は、それまでのものをほぼ一新した内容となっていて、基礎的・汎用的能力で表されている「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」の内容と、いわてキャリア指針で示されている「総合生活力」「人生設計力」の内容について、改めてその項目や内容を見直し、検討してほぼリニューアルとしたものである。例えば、「コミュニケーション」「チームワーク」「自己を律する力……」「課題発見……」等の新項目を起こしたり、従来の内容を見直し、他の能力分野へ内容を移動したりした。その上で項目名を変えたりし、基礎的・汎用的能力で表現しようとしている部分を強化した。特に、課題としていた自己理解・自己管理能力や課題対応能力の内容を改めてとらえなおし、新たな項目として「自己を律する力・規範意識・忍耐力」「課題発見」「実行+評価・改善」等を加えたりしている。どのように変更して作成したか等については、全資料を参照願えればありがたい。

6. 「キャリアプランニング・マトリックス（目標設定等総合版）」（資料2）の活用について

キャリアプランニング・マトリックスの各項目に対し、表現の言い換え、キーワード、目標的表現例^{6) 7)}を加えてあるので、実際の目標設定等においてイメージしやすく、より適切に目標の設定等を行うことができると思われる。

7. 「キャリアプランニング・マトリックス（学習指導要領記載版）」（資料3）の活用について

前項6（資料2）で提示している内容に加え、関連すると思われる学習指導要領の内容や解説を記載して作成したのが「キャリアプランニング・マトリックス（学習指導要領記載版）」（資料3）である。

記載している学習指導要領は、「知的障害者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校の各教科」の小学部の各教科の「生活」の全部および「算数」の一部、同中学部の各教科の「職業・家庭」の全部および「数学」の一部、そして「知的障害者である生徒に対する教育を行う特別支援学校高等部の各教科」の「職業」の全部および「数学」の一部である。

それぞれ、学習指導要領の「内容」（各段階を含む）とその「解説」を記載した^{8) 9)}。

解説の記載の方法や要点等は以下に示す。

7.1 各段階共通について

(1) 学習指導要領の各内容が各段階にわたって関連していると思われるところについては、横並びに記載している。例えば、小学部「教師と一緒に簡単な買い物をする」「決まった額の買物をして、金銭の必要なことがわかる」「簡単な買い物をして、金銭の取扱いに慣れる」、中学部「金銭や時計・暦などの使い方に慣れる」、高等部「金銭や時計・暦などの正しい使い方がわかる」らは、互いに関連した中味ととらえ、横並びに記載しているということである。逆に、あまり関連が少な

い、あるいは関連はないと思われるところについては、それぞれ単独の記載をしている。このことから、関連しているところについては、小学部、中学部、高等部と比較しながらみてとることができ、日頃の指導に資することができると思われる。

(2) キャリアプランニング・マトリックスと学習指導要領という性格の違う内容を同一物中に表現することに当たり、キャリアプランニング・マトリックスの項目に関連すると思われる学習指導要領の内容とその解説を記載している位置そのものとキャリアプランニング・マトリックスの当該能力とは必ずしも関連し合っているわけではない。例えば、キャリアプランニング・マトリックスの「集団参加」欄に集団参加に関連すると思われる学習指導要領の内容や解説が載っているとしても、その記載内容全部が当該能力の「人間関係形成・社会形成能力」に関連しているわけではなく、あくまでも、学習指導要領の内容や解説として示している、ということである。学習指導要領の内容や解説を見ると、1つの内容や解説の中に、キャリアプランニング・マトリックスで示している「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」に関連すると思われる表現がみられる。そのことから、学習指導要領の内容や解説において、どのように上記の4能力と関係しているのかについてみていくときの参考資料にも今回の資料はなると思われる。

なお、キャリアプランニング・マトリックスそのものは学習指導要領の各教科の内容段階を意識して作成されていることについては重ねて記しておきたい。

(3) 学習指導要領関連の記載中の「留意点」や「○留意点」「他の指導上の留意点」等と表記して記載していることについては、キャリアプランニング・マトリックスを利用しての指導の際の留意点や配慮点ではなく、あくまでも学習指導要領上の留意点の記載であることについても記しておく。

7.2 第1, 2段階, 第3段階について

小学部の学習指導要領の内容や解説を記載している。学習指導要領の内容の各段階1, 2, 3については, そのまま1, 2, 3と表記している。学習指導要領の文言について, ほぼそのまま使用して表記している。以下, 箇条書きで要点を記す。

- ◎「○説明」と表記されているところについて
 - ・該当する項目が大きく何に分けられるか, 示している。
- ◎「○内容」と表記されているところについて
 - ・指導内容のことである。
 - ・「何々のこと。何々すること」のようにわかりやすく区切って表記している。
- ◎「○1段階」「○2段階」と表記されているところについて
 - ・各段階の「重要な点」や「大切」とされていることについて表記している。
- ◎「□～できる」表現について
 - ・学習指導要領の中で, 例えば～～が考えられる等の表現を使用して学習の一例が示されている場合に, その学習内容が実際に想定される場合において目標設定等で参考にできるように, 「□～できる」表現を使って表記した。
- ◎「留意点」と表記されているところについて
 - ・直前の内容についての配慮点や留意すべき事項であると思われる場合に, 特に「留意点」として表記している。
 - ・ただし, 「○1段階」「○2段階」と表記されているところでも, 内容的に留意点の内容ではないか, あるいは反対に「留意点」と表記されているところでも指導内容の中味ではないか等, 明確に読み取れきれないところがあり, あくまでも, 資料作成時点での筆者の判断での記載となっている。
- ◎「○留意点」と表記されているところについて
 - ・説明している内容全体にかかわっての配慮点や留意すべき事項であると思われる場合に, 「○留意点」として表記している。
- ◎「意味」と表記されているところについて
 - ・直前の文言の説明について, 必要な場合に表記

して説明している。

7.3 第4段階について

中学部の学習指導要領の内容や解説を記載している。学習指導要領の内容の段階1 (中学部は一つの段階) については, 今回の資料では4と表記している。学習指導要領の解説記載については, 筆者なりに中味を読み取って変えて表記している場合がある。以下, 箇条書きで要点を記す。

- ◎「○意味」と表記されているところについて
 - ・当該の内容の一部の文言について, その意味を説明する場合に表記して説明している。また, 「(～～)の意味」として説明している場合もある。
- ◎「留意点」と表記されているところについて
 - ・直前の内容についての配慮点や留意すべき事項であると思われる場合に, 特に「留意点」として表記している。
- ◎「□～できる」表現について
 - ・学習指導要領の中で, 例えば～～が考えられる等の表現を使用して学習の一例が示されている場合に, その学習内容が実際に想定される場合において目標設定等で参考にできるように, 「□～できる」表現を使って表記した。
- ◎「他の指導上の留意点」と表記し, ○表現しているところについて
 - ・説明している内容全体にかかわっての配慮点や留意すべき事項であると思われる場合において, 「○～～」として表記している。

7.4 第5, 6段階について

高等部の学習指導要領の内容や解説を記載している。学習指導要領の内容の段階1, 2については, 今回の資料では5, 6と表記している。ここでも, 学習指導要領の解説記載について筆者なりに中味を読み取って, 変えて表記している場合がある。

以下, 箇条書きで要点を記す。

- ◎「○意味」と表記されているところについて
 - ・当該の内容の一部の文言について, その意味を説明する場合に表記して説明している。

・また、「(～)の意味」として説明している場合もある。

◎「留意点」と表記されているところについて

・直前の内容についての配慮点や留意すべき事項であると思われる場合に、特に「留意点」として表記している。

◎「□～できる」表現について

・学習指導要領の中で、例えば～が考えられる等の表現を使用して学習の一例が示されている場合に、その学習内容が実際に想定される場合において目標設定等で参考にできるように、「□～できる」表現を使って表記した。

◎「他の指導上の留意点」と表記し、○表現しているところについて

・説明している内容全体にかかわっての配慮点や留意すべき事項であると思われる場合において、「○～」として表記している。

以上、説明が十分でないところについてご寛容願いたい。キャリアプランニング・マトリックスの各項目に関連すると思われる学習指導要領についてその内容と解説を加えてあること、小学部、中学部、高等部と3つの段階の内容や解説が同一の資料内にあること等により、目標設定等の際に「学習指導要領」ではどのような内容や解説なのかを即座に確認できる利点があると考え。キャリアプランニング・マトリックスと学習指導要領の関連をとらえていく資料として活用できると思われる。

8. おわりに

従来の「4領域8能力」(人間関係形成能力、情報活用能力、将来設計能力、意思決定能力)の実践に対し、さまざまな指摘や課題がある¹⁰⁾ことは承知している。今回は、従来の取り組みにキャリア教育の新しい枠組みを取り入れつつ、学習活動の目的や系統的な学習内容、指導・支援の共通性を考えていく際の指標の1つになることができるのではないかと考えて作成した資料の提示である。キャリア教育の参考にしてもらえればと考える。なお、紙面内

に、「資料1」「資料2(一部抜粋)」「資料3(一部抜粋)」を掲示する。

9. 連絡先

(全資料/総頁84/の送付希望は以下まで)

小田島利紀(標記に同じ) tel 019-639-8515

fax 019-639-8517

(Eメール) t-odajima@moh-y.iwate-ed.jp

〈引用・参考文献〉

- 1) 中央教育審議会(H23/1/31/第74回総会)「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について」(答申)
- 2) 「いわてキャリア教育指針」平成22年3月岩手県教育委員会策定
- 3) 「いわてが目指すキャリア教育」パンフレット平成24年3月岩手県教育委員会作成
- 4) 国立特別支援教育総合研究所(2008)平成18・19年度課題別研究報告書「知的障害者の確かな就労を実現するための指導内容・方法に関する研究」『表13知的障害のある児童生徒の「キャリア発達段階・内容表(試案)」(全体構造図)』p.66の次頁
- 5) 国立特別支援教育総合研究所(2010)『知的障害のある児童生徒の「キャリアプランニング・マトリックス(試案)」(知的障害のある児童生徒の「キャリア発達段階・内容表(試案)」改訂版)
- 6) 国立特別支援教育総合研究所編著(ジヤース教育新社)(H23/6/2第2刷)「特別支援教育充実のためのキャリア教育ガイドブック」p35, p49-50, p51-86
- 7) 千葉県立特別支援学校流山高等学園(2008)平成19年度研究紀要「実践のあゆみ第11号」p23-75
- 8) 文部科学省著(教育出版)(H22/4/30第二版)「特別支援学校学習指導要領解説総則等編(幼稚部・小学部・中学部)平成21年6月」p252-278, p291-292, p332-333, p354-362
- 9) 文部科学省著(教育出版)(H21/12/25初版)「特別支援学校学習指導要領解説総則等編(高等部)平成21年12月」p435-436, p460-469
- 10) 文部科学省著(H23/11/)「高等学校キャリア教育の手引き」p21-23

他の参考資料

「本校2007から2013までの各年度の研究紀要」

資料1 平成25年度「キャリアプランニング・マトリックス（項目版）」（平成24年度版を改訂）

		第1, 2段階	第3段階	第4段階	第5, 6段階
基礎的・汎用的能力*1	総合生活力	コミュニケーション □人社1.2.3-1 挨拶の習慣化 他者の個性を理解する力+やさしさ □人社1.2.3-2 友達の良い気付き、優しい心 チームワーク □人社1.2.3-3 集団活動への参加 他者に働きかけられる力 □人社1.2.3-4 身の回りへの必要な意思の表現	コミュニケーション □人社4-1 状況に応じた言葉遣いやふるまい 他者の個性を理解する力+思いやり □人社4-2 相手の気持ちや考え、立場の理解、思いやる心 チームワーク □人社4-3 集団における役割の理解と協力 他者に働きかけられる力+リーダーシップ □人社4-4 日常・社会生活に必要な意思の表現、集団におけるリーダー力	コミュニケーション □人社4-1 状況に応じた言葉遣いやふるまい 他者の個性を理解する力+思いやり □人社4-2 相手の気持ちや考え、立場の理解、思いやる心 チームワーク □人社4-3 集団における役割の理解と協力 他者に働きかけられる力+リーダーシップ □人社4-4 日常・社会生活に必要な意思の表現、集団におけるリーダー力	コミュニケーション □人社5.6-1 T.P.Oに応じた言動 他者の個性を理解する力+思いやり □人社5.6-2 他者の考えや個性の尊重、思いやる心 チームワーク □人社5.6-3 集団の一員としての役割遂行、協働 他者に働きかけられる力+リーダーシップ □人社5.6-4 必要な支援を適切に求めたり、相談したりできる表現力、目標達成に向けてのリーダー力 健康・体力・習慣形成 □人社5.6-5 健康の増進、就労先を意識した体力の増進、職業生活に必要な習慣形成
	記理解・記管理能力	自己を理解する力 □自己1.2.3-1 自分の良さの気付き 自己を律する力・規範意識・忍耐力 □自己1.2.3-2 目標達成のための心得、身近なまじり、がまん強さ 主体的に行動する力+やりがい □自己1.2.3-3 活動への意欲的な取り組み	自己を理解する力+前向きに考える力・動機付け □自己4-1 達成感に基づく肯定的な自己理解 自己を律する力・規範意識・忍耐力 □自己4-2 目標達成に必要な自律心、善悪の判断、道徳的判断力、忍耐力 主体的に行動する力+生きがい、やりがい □自己4-3 様々な活動への自発的な取り組み	自己を理解する力+前向きに考える力・動機付け □自己4-1 達成感に基づく肯定的な自己理解 自己を律する力・規範意識・忍耐力 □自己4-2 目標達成に必要な自律心、善悪の判断、道徳的判断力、忍耐力 主体的に行動する力+生きがい、やりがい □自己4-3 様々な活動への自発的な取り組み	自己を理解する力+前向きに考える力・動機付け □自己5.6-1 職業との関係における自己理解、職業意識の向上 自己を律する力・規範意識・忍耐力 □自己5.6-2 目標達成に必要な自律心、倫理観、道徳的実践力、忍耐力 主体的に行動する力+生きがい、やりがい □自己5.6-3 将来設計や進路希望の実現のための主体的な活動の取り組み
	課題対応能力	情報の理解・選択・処理 □課対1.2.3-1 仕事、働く人など身の回りの様々な環境への関心 金銭の扱い □課対1.2.3-2 体験を通した金銭の大切さの理解 課題発見 □課対1.2.3-3 自分の課題への気付き	情報の理解・選択・処理 □課対4-1 進路をはじめ様々な情報の収集と活用 金銭の扱い+金銭の使い方と管理 □課対4-2 消費生活に関する基本的な事柄の理解と計画的な消費 課題発見+計画立案 □課対4-3 課題の把握とともに解決に向けての計画の立案 実行+評価・改善 □課対4-4 課題解決に向けた具体的な実行と自他の評価	情報の理解・選択・処理 □課対4-1 進路をはじめ様々な情報の収集と活用 金銭の扱い+金銭の使い方と管理 □課対4-2 消費生活に関する基本的な事柄の理解と計画的な消費 課題発見+計画立案 □課対4-3 課題の把握とともに解決に向けての計画の立案 実行+評価・改善 □課対4-4 課題解決に向けた具体的な実行と自他の評価	情報の理解・選択・処理 □課対5.6-1 職業生活・社会生活に必要な事柄の情報収集と活用 金銭の扱い+金銭の使い方と管理+消費生活の理解 □課対5.6-2 労働と報酬の関係の理解と計画的な消費 課題発見+計画立案 □課対5.6-3 課題の把握とともに解決に向けての計画の立案 実行+評価・改善 □課対5.6-4 課題解決に向けた具体的な実行と自他の評価
	人生設計力	はたらくよろこび □キャリア1.2.3-1 自分が果たす役割の理解と実行 進路計画 □キャリア1.2.3-3 前向きな進路計画 選択 □キャリア1.2.3-4 遊び、活動の選択 行動・目標設定 □キャリア1.2.3-6 目標への意識、意欲的な取り組み 改善・振り返り □キャリア1.2.3-7 活動の振り返り 社会資源の活用 □キャリア1.2.3-8 地域社会資源の活用	働く喜び+役割の理解と働くことの意義+余暇の活用 □キャリア4-1 様々な職業があることや働くことに関する体験的理解 □キャリア4-2 学校生活、家庭生活において自分が果たすべき役割の理解と実行、余暇の活用 進路計画 □キャリア4-3 目標を実現するための主体的な進路計画 選択+決定・責任 □キャリア4-4 個性や興味・関心に基づいたよりよい選択 □キャリア4-5 進路先に関する主体的な選択 行動・目標設定 □キャリア4-6 目標の設定と達成への取り組み 改善・振り返り+肯定的な自己評価 □キャリア4-7 活動場面で振り返りとそれを次に生かそうとする努力 社会資源の活用 □キャリア4-8 社会の仕組み	働く喜び+役割の理解と働くことの意義+余暇の活用 □キャリア5.6-1 職業及び働くことの意義と社会生活において果たすべき役割の理解と実行、将来設計に基づいた余暇の活用 進路計画 □キャリア5.6-3 将来設計に結びつく進路計画 選択+決定・責任 □キャリア5.6-4 産業現場等における実習などの経験に基づく進路選択 行動・目標設定 □キャリア5.6-6 将来設計や進路希望の実現を目指した目標の設定とその解決への取り組み 改善・振り返り+肯定的な自己評価 □キャリア5.6-7 産業現場等における実習などにおいて行った活動の自己評価、他者評価の受容 社会資源の活用+法や制度の活用 □キャリア5.6-8 社会の様々な制度やサービスに関する理解と実際の生活での利用	
段階*2	教師の援助を受けながら体験し、基本的な行動を身につけていく段階	主体的に、社会生活につながる行動を身につけていく段階	生活経験の積み重ねを考慮して、社会生活や将来の職業生活の基礎的内容を学ぶ段階	卒業後の家庭生活・社会生活・職業生活などを考慮した基礎的内容から発展的内容を学ぶ段階	

*1:社会的・職業的自立や社会・職業への円滑な移行に必要な力:「基礎的・基本的な知識技能」「基礎的・汎用的能力」「論理的思考力・創造力」「意欲・態度及び価値観」「専門的な知識・技能」*2:知的障がいのある各段階との関連を目指す。また、キャリア教育における「能力」とはcompetencyであり、個人の現能力重視ではなく、一緒に努力すればできるようになる、という育成重視である。

資料2 平成25年度「キャリアプランニング・マトリックス（目標設定等総合版）」（人間関係形成・社会形成能力）」（資料の一部抜粋）

		第1, 2段階	第3段階	第4段階	第5, 6段階
基礎的・汎用的能力*1	総合生活力	コミュニケーション □人社1.2.3-1 挨拶の習慣化 ・挨拶を自分から行う。	コミュニケーション □人社4-1 状況に応じた言葉遣いや振る舞い ・状況を考えて話したり行動したりする。	コミュニケーション □人社4-1 状況に応じた言葉遣いや振る舞い ・状況を考えて話したり行動したりする。	コミュニケーション □人社5.6-1 T.P.Oに応じた言動 ・相手を理解し、場や状況に応じた適切な言葉遣いで話したり、行動したりする。
	人間関係形成・社会形成能力	キーワード ○動作を伴うあいさつ ○「失礼します」等の入退出時のあいさつ ○各種の習慣化 教科・領域等(主な指導・支援の場) ○各専門教科 ○ライフプランニング ○特別活動、HR等 □動作を伴うあいさつが言える。 □「失礼します・失礼しました」等の入退出時のあいさつを話せる。	キーワード ○報告・連絡の際の言葉遣い(相手を尊重する気持ち、自然な言動) ○電話の応答、言葉遣い 教科・領域等(主な指導・支援の場) ○各専門教科 ○ライフプランニング 就業体験実習等 ○特別活動、HR等 □相手より先にあいさつする。 □声の大きさや速さも考えて等状況にほぼ応じたあいさつができる。(自然にできるとなおよい)	キーワード ○自分で考えての行動が大切 ○場や状況に応じて適切に話す ○相手の話を聞いてから自分で話す ○必要に応じた敬語 教科・領域等(主な指導・支援の場) ○各専門教科 ○ライフプランニング 就業体験実習等 ○特別活動、HR等 □T.P.Oに応じた適切なあいさつができる(相手に好印象をもたらせるとなおよい)	
		他者の個性を理解する力+やさしさ □人社1.2.3-2 友達の良い気付き、優しい心 ・友達と仲良く遊ぶ。 ・友人を認め、友人の良さに気づく。	他者の個性を理解する力+思いやり □人社4-2 相手の気持ちや考え、立場の理解、思いやる心 ・自分と相手の違いに気づき、異性や異年齢の人たちと共に活動する。	他者の個性を理解する力+思いやり □人社5.6-2 他者の考えや個性の尊重、思いやる心 ・他者の考えや個性を尊重し、自分との差異を認めながらも受容する。	

<p>・友人への優しさの表れ</p> <p>キーワード <input type="checkbox"/> 他者の良さ、長所、得意面 <input type="checkbox"/> 相手を褒める <input type="checkbox"/> 将来の可能性 <input type="checkbox"/> 集団活動への参加 教科・領域等(主な指導・支援の場) <input type="checkbox"/> ライフプランニング <input type="checkbox"/> 特別活動、H.R.等</p> <p><input type="checkbox"/> 友人の良さを意識した言動ができる <input type="checkbox"/> 友人への優しさが現れる。</p>	<p>キーワード <input type="checkbox"/> 相手の立場、役割の理解 <input type="checkbox"/> 異性との違い <input type="checkbox"/> 先輩、同輩、後輩、教師等の意識</p> <p>教科・領域等(主な指導・支援の場) <input type="checkbox"/> 各専門教科 <input type="checkbox"/> ライフプランニング等</p> <p><input type="checkbox"/> 自他の役割を意識し、相手の立場を理解した言動ができる。</p>	<p>キーワード <input type="checkbox"/> 相手の立場、役割の理解 <input type="checkbox"/> 異性との違い <input type="checkbox"/> 先輩、同輩、後輩、教師等の意識 <input type="checkbox"/> 作業・実習場面等 <input type="checkbox"/> 作業結果の確認による仕事の責任 <input type="checkbox"/> 他者の作業を見ての相互評価等 教科・領域等(主な指導・支援の場) <input type="checkbox"/> 各専門教科 <input type="checkbox"/> ライフプランニング等</p> <p><input type="checkbox"/> 相手の立場やチームとしての向上を意識した言動ができる。</p>
<p>チームワーク <input type="checkbox"/> 人社1.2.3-3 集団活動への参加 ・集団活動に進んで参加し、教師や友人との良い関係を築きながら活動する。</p> <p>キーワード <input type="checkbox"/> 集団内での共通の興味・関心 <input type="checkbox"/> 一緒に活動の楽しさ <input type="checkbox"/> 仲間意識、達成感 <input type="checkbox"/> 助け合う大切さ 教科・領域等(主な指導・支援の場) <input type="checkbox"/> ライフプランニング <input type="checkbox"/> 特別活動、H.R.等</p>	<p>チームワーク <input type="checkbox"/> 人社4-3 集団における役割の理解と協力 ・集団活動における目的を共有し、役割を理解して、協力して成し遂げる。</p> <p>キーワード <input type="checkbox"/> 他者からの教え、他者への助け <input type="checkbox"/> 集団としての目的共有 <input type="checkbox"/> 協力しながら活動への取り組み <input type="checkbox"/> 役割分担と自分の仕事の責任 <input type="checkbox"/> 集団で取り組む満足感 <input type="checkbox"/> 仕事のまきみや指示の遵守 <input type="checkbox"/> 他人の仕事へ不要な手出し口出しをしない事 教科・領域等(主な指導・支援の場) 以下、略</p>	<p>チームワーク <input type="checkbox"/> 人社5.6-3 集団の一員としての役割遂行、協働 ・リーダーとフォロワーの立場を理解し、チームとして協力・共同して活動に取り組む。</p> <p>キーワード <input type="checkbox"/> 集団内での自分の役割や関係性の理解 <input type="checkbox"/> 他者と協力しての活動 <input type="checkbox"/> 他者への失敗の伝え、他者からの指摘に対する自分の理解等、チームとして協調して仕事をする事 <input type="checkbox"/> 職場内で様々な立場の人が居ることの理解、リーダーとフォロワーの関係 教科・領域等(主な指導・支援の場) <input type="checkbox"/> 各専門教科</p>

資料3 平成24年度「キャリアプランニング・マトリックス(学習指導要領記載版)・『キャリアプランニング能力』(学習指導要領の内容や解説記載)(資料の一部抜粋)

		第1, 2段階(本校マトリックス表記)	第3段階(本校マトリックス表記)	第4段階(本校マトリックス表記)	第5, 6段階(本校マトリックス表記)
		(小学部の学習指導要領の内容や解説記載) (学指上の内容 1.2.3.の各段階を表記)		(中学部の学習指導要領の内容や解説記載) (学指上の内容 1.の段階を4.として表記)	(高等部の学習指導要領の内容や解説記載) (学指上の内容 1.2.の各段階を5.6.として表記)
基礎的・汎用的能力	キャリアプランニング能力	<p>はたらくよるこび <input type="checkbox"/> キャリ71.2.3-1 自分が果たす役割の理解と実行</p> <p>学習指導要領との関連 1教師と一緒に簡単な手伝いや仕事をす 2教師の援助を受けながら簡単な手伝いや仕事をす 3日常生活で簡単な手伝いや仕事を進ん です。 (手伝い・仕事)について <input type="checkbox"/> 説明:手伝い・仕事は、(手伝い)(整理整頓)(戸締まり)(掃除)(後片付け)に分けられる。 [手伝い]について <input type="checkbox"/> 内容:物を配ったり届けたりすること。 :伝言を届けること。 :作業を手伝うことなど。 <input type="checkbox"/> 1段階:教師と一緒に、配布物を配ったり、教材等を運搬したりすることなど。手伝いの意味が十分に理解できない児童にとっても、徐々に手伝いことの喜びが味わえるようになることが大切。 <input type="checkbox"/> 2段階:教師の援助を受けながらも、できるだけ自分で配布物の手伝いをしたり、他の教室へ教材等を運んだりすること。 :簡単な道具や器具を教師と一緒に使用して、作業の手伝いをするのが大切。 留意点:安全に留意するとともに、個々の児童に応じた手伝いを設定することにより、手伝いをするに意欲がもてるようになることが大切。 <input type="checkbox"/> 3段階:日常生活の中で、自分から調理や製作などの様々な活動の手伝いをする事。 留意点:担任以外の教師とも連絡を取り合い、適切な指導が行われるよう協力体制を心掛けておくことが大切。 :道具や器具に慣れるとともに、それらを大切に扱いながら安全に仕事の手伝いをするのが大切。 <input type="checkbox"/> 留意点:道具等を扱う場合は、道具等の正しく安全な使用方法をきめ細かく指導することが必要。 :刃物、ガス器具、電気器具等危険を伴う道具や器具の扱いについては、安全に十分配慮し、適切な使用方法を指導する必要がある。</p>		<p>働く喜び+役割の理解と働くことの意義 <input type="checkbox"/> キャリ4-1 様々な職業があることや働くことに関する体験 以下一部中略</p> <p>4働くことに興味をもち、作業や実習に参加し、働く喜びを味わう。 (働くことに関心をもち、作業や実習に参加し、働く喜びを味わう)について <input type="checkbox"/> 意味:物を作ったり、育てたりする活動に興味をもち、作る、育てるなどの目的的な活動が働くことにつながることに気付くようにすること。 (作業や実習に参加し、働く喜びを味わう)について <input type="checkbox"/> 意味:学校における作業や産業現場等において、作業の準備(下文参照)、主たる作業活動、作業の片付けなどの一連の活動に、生徒が実際に取り組み、それぞれの活動を確実に成し遂げ、達成感や成就感をもち、製品などへの感想を受けて満足感を味わったりして、働くことに関心をもてるようになること。 <input type="checkbox"/> 学校における作業や産業現場等において、手洗いや身支度、作業手順や工程の確認、材料や道具の用意などの作業の準備の活動を確実に成し遂げることができる。 <input type="checkbox"/> 学校における作業や産業現場等において、作ること、育てること、運ぶこと、計数や計量を行うことなどの主たる作業の活動を確実に成し遂げることができる。 <input type="checkbox"/> 学校における作業や産業現場等において、半完成品の整理、完成品の計数や整理、材や道具の片付け、諸点検などの作業の片付けの活動を確実に成し遂げることができる。 <input type="checkbox"/> それぞれの活動を確実に成し遂げ、達成感成就感、満足感をもち、働くことに関心をもつことができる。 (他の指導上の留意点) <input type="checkbox"/> 作業分担を明確に、作業工程や活動全体が見通せること、安全等にも配慮した作業場所の設定等が重要。 <input type="checkbox"/> 個々の役割分担、道具・補助具の工夫、作業場・作業環境の整備、衛生の配慮の必要。 <input type="checkbox"/> 作業製品に触れての感想の発表、等を大切にす。</p>	<p>働く喜び+役割の理解と働くことの意義 <input type="checkbox"/> キャリ75.6-1 職業及び働くことの意義と社会生活において</p> <p>5働くことの意義を理解し、作業や実習に取り組み、働く喜びを味わう。 (高等部「職業」以下同) (働くことの意義を理解し)について <input type="checkbox"/> 意味:働きの意味が分かること。 <input type="checkbox"/> 留意点:進んで働くことをとおして、働くことの意味が分かるようにすることに留意する。 <input type="checkbox"/> 周囲の人々は皆、社会の中で働きながら生活をしていることが分かる。 <input type="checkbox"/> 人々は働くことを誇りとしていることが分かる。 <input type="checkbox"/> 働くことをとおして、充実感や生きがいをもてるようになることなどが分かる。 <input type="checkbox"/> 働くことを人々が尊重していることを知る。 (作業や実習に取り組み)について <input type="checkbox"/> 意味:具体的な作業や実習場面での経験や体験を通じて、一つ一つの作業工程の手順が分かり、その工程に必要な仕事を成し遂げること、一定期間に一連の活動を成し遂げること。 <input type="checkbox"/> 学校における作業や産業現場等における実習で、手洗いや身支度、作業手順や工程の確認、材料や道具の用意、作業目標の確認などの作業の準備を確実に成し遂げることができる。 <input type="checkbox"/> 学校における作業や産業現場等における実習で、作ること、育てること、運ぶこと、計数や計量を行うこと、伝票等の処理をすること、清掃や販売活動などをすること、などの作業活動を確実に成し遂げることができる。 <input type="checkbox"/> 学校における作業や産業現場等における実習で、半完成品の整理、完成品の計数や整理、材料や道具の片付け、諸点検、作業の評価、売上げなどの確認や報告などの作業の片付けを確実に成し遂げることができる。 <input type="checkbox"/> 留意点:作業や実習においては、そうした一連の活動に取り組むことをとおして、確実性、持続性、巧緻性、安全・衛生に気を付ける態度などを育て習慣化することに留意する。</p> <p>(働く喜びを味わう)について <input type="checkbox"/> 意味:物を作ったり、作物を育てたりする活動に意欲的に取り組み、成就感を得て、仕事への自信をもてるようになること、さらに積極的に仕事に取り組めるようになること。</p>
				以下、略	